

加賀市における公立病院改革プランの  
実施状況の点検・評価

加賀市地域医療審議会

- 1 加賀市地域医療審議会の組織
- 2 加賀市地域医療審議会の目的
- 3 審議の経過
- 4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価
- 5 参考意見

## 1 加賀市地域医療審議会の組織（平成 22 年 1 月 28 日現在）

会 長	稲坂 暢（加賀市医師会長）
副会長	佐藤日出夫（南加賀保健福祉センター所長）
委 員	上田良成（加賀市医師会議長）
委 員	富田勝郎（金沢大学附属病院長）
委 員	上出栄雄（加賀市議会議長）
委 員	林 俊昭（加賀市議会議員）
委 員	三輪邦彦（市民代表〔公募〕）
委 員	丸谷朱美（市民代表〔公募〕）
委 員	末 一夫（加賀市消防長）
委 員	関 雅博（石川病院長）
委 員	高橋一郎（山中温泉医療センター管理者）
委 員	前野紘一（加賀市民病院管理者）

## 2 加賀市地域医療審議会の目的

本審議会は、加賀市地域医療審議会条例第 1 条の規定に基づき、加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とする。今回の審議会は、この目的に沿い加賀市病院事業改革プランの実施状況の点検・評価をおこなう。

## 3 審議の経過

### 会議

日時：平成 22 年 1 月 28 日（木）14 時 00 分～15 時 45 分

場所：加賀市民病院 講堂

### 会議内容

- (1) 加賀市が開設する 2 病院の改革プランの実施状況について説明が行われ、意見が交わされた。

#### 4 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価

平成20年度の目標値に届かなかった最大の原因は医師不足にあると思われる。平成21年度の実績・見込みからみても、目標達成は困難だと思われるが、既にある病院の医療資源である、人や器械を上手く使い分ける、機能分化する、或いは統合する事でもっと診療効率を上げ、数値目標の達成を目指していただきたい。

#### 5 参考意見

- (1) 取れなかった点数をどう取るか、どういう治療、或いは手術をするかといったきめ細かい素案を作り、1つ1つの項目について目標を設定し、いかにして達成出来るかを考えていくべきではないかという感じを受けた。
- (2) 今の若い先生方は、沢山のスタッフがいて色々高度な医療を勉強出来る場所を選択する。先生方が来たい病院でないと医者数は集まらないし、良い医者も集まらない。
- (3) アクセスの問題で影響が出ている事も聞くので、交通機関の対応について協力を求めていかなければならない。議会においても方向を示してもらいたいと思っている。
- (4) 急ぎ足で具体的に数年後を決めていかないと、議論ばかり繰り返して何も変わらない事を危惧している。2つまとめてという転出計画まで考えるだけの勢いと勇気がなければいけないのではないか。それが市民の幸せに繋がるのではないかと強く思う。
- (5) 2次救急の患者さんが、時と場合によって他院へ行かなければならない状況は、市民から言うと物足りない内容だと思う。市民はいつも内科の患者が診てもらえるような病院を要求しているので、そのような体制をとらなければならないと思う。
- (6) 平成24年に向けてどのように持っていくかを、なるべく早い段階から考え、それを実現に向けていくのが大事。市民の信頼を得るためには、名医がいる以上に、救急を受け入れるのが一番の元だと思う。3つの病院がなるべく早く1つになれば救急に対応出来、市民の信頼も大きくなると思う。
- (7) 医療審議会の意見も踏まえ、救急医療に対する考え方、医師確保をどう具体的に進めるべきかを考えていただきたい。県としては南加賀医療圏内での救急医療は、一般の救急、2次救急は南加賀圏域内で完結という形の医療体制にしたいという意思がある。

- (8) 経営的な問題、集約に対する問題、地域エゴ等様々な問題を含めても、この審議会で過去に出した答申は臆するものではなく、自慢出来るものだと思っている。議会も市長も精力的にこの答申のもとにおいて行動して頂きたいというのが市民としての切なる願いです。
- (9) 加賀は急性期を、山中は回復期と療養に緩和系の病棟を加えれば、ゆっくり系と温泉の魅力がうまく繋がるのではないかと。急性期のスタッフは加賀のほうに行ってもいいのではないかと。そういうふうな住み分けが良いのだろうが、問題になるのは職員の身分の違いである。そこをどうするか、どういう事があり得るかを知りたい。
- (10) 病院を一本化するのは賛成。山中温泉は良い温泉があるという特色を出し、また、現在おこなっている児童のデイサービス等に力を入れていただくと非常に良いと思う。
- (11) 山中温泉医療センターを潰すという声は一回も出ていなかったと思う。山中医療センターと加賀市民病院が共存してより効率の良い医療をしていただく、2つを上手く利用出来ないかという事だと理解している。